

清水ヶ丘便り



2012 July vol. 32

清陵らしさ

校長 佐藤 尚登

今年5月、東京スカイツリーの開業が話題になりました。当然のことながら工事は何年も前から始まっていたわけですから、3.11 東日本大震災に耐え抜いて開業を迎えたこととなります。そういえば昨年5月、サンケイ新聞が興味深い記事を掲載していました。“絶対にゆるまないネジ”が採用されていたからスカイツリーは大震災にビクともしなかった、というのです。そしてそのネジ、ハードロックナットの発明者若林克彦さんを紹介していました。

大阪府で工場を経営する若林さんがゆるまないネジのヒントを得たのは、自宅近くの住吉大社の鳥居に使われていた楔（くさび）を見た時でした。鳥居と同様にボルトとナットの隙間に楔を打ち込めばネジはゆるまないのではないか、とひらめいたそうです。若林さんがヒントを得た鳥居が作られた年代はわかりませんが、住吉大社は創建が神話時代まで遡ると伝えられる古い神社ですから、鳥居を見た人は夥（おびただ）しい数になると思います。もしかすると億の単位になるかもしれません。けれどもゆるまないネジに結実させた人は若林さん以前にはいませんでした。

結局、問題意識を持ち続けることと発想の伸びやかさ

が決定的に重要なのだと思います。できあがった知識の体系を効率よく記憶し、それを吐き出すことだけが勉強だと考えていては到達できない世界でしょう。

私は“清陵らしさ”ということを考えます。清陵は様々な貌（かお）をもっていますが、“自分の頭で考える”ことを大事にしてきたことはそのうちの重要なものの一つです。

暗記ではなく自分の頭で考える訓練を積んだ生徒諸君が、様々な体験を通して課題に粘り強く取り組む精神力を鍛え、さらに仲間との闊達な議論を通して伸びやかな発想を育てることのできる学校であり続けたいと願っています。そのような人材こそが、困難な状況にある私達の国日本をリードして行ってくれるものと確信します。

また清陵は、2年後の平成26年には併設型中高一貫校としての新たな歴史を刻み始めます。創立以来一貫して地域の俊秀を集め、互いの切磋琢磨を通じて有為な人材に育ててきた清陵の役割は、これからも揺らぐことはありません。高校進学を目指す中学生の皆さんには、ぜひ清陵で自らの力を試してみたいと思います。そんな皆さんを心から歓迎します。



第62回清陵祭開催（6月29日～7月2日）

テーマ「陵雲」

空を縦横無尽に行き来する雲は、自由の象徴。清陵生はいつ何時でも高い志をもって、行動する。その志は雲をも陵ぐ。



たくさんのご来校ありがとうございました。バザー売上金はユニセフ等に寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。



これからの行事予定

8月	1日	中学生体験入学	9月	25日	クラスマッチ	11月	6日～9日	2年研修旅行
9月	3日	端艇大会	10月	20日	授業公開・PTA講演会		7日～9日	1・3年第3回定期考査
	11日～14日	第2回定期考査		25日	湖周マラソン		20日～22日	2年第3回定期考査

アラスカ・フェアバンクス海外研修



この海外研修は、オーロラをはじめとする北極圏の自然現象を対象とした課題探究の現地観測および実験と、アラスカ大学国際北極圏研究センターをはじめとする最先端の北極圏研究施設での研修により、将来世界で活躍する科学技術系人材を育てることを目的として実施しています。参加した生徒達は、日本では体験できない厳しく雄大な自然と全天を覆う美しいオーロラを見て、まず感動します。最近では太陽の黒点活動が活発でオーロラ爆発が観測できることもあります。しかし、黒点活動の周期が不順になり、近い将来 100 年間程度の寒冷期への突入も予想されることから、太陽観測は世界中の科学者の注目を集めています。今年は 3 月 12 日から 17 日まで、SSH 講座の生徒 28 名が参加し、オーロラを観測することができました。

東京大学木曾観測所天文学研修「星の教室」

6 月 16、17 日、東京大学木曾観測所で行われたこの教室では、世界で 4 番目に大きい 105cm シュミット望遠鏡をはじめ、所内の施設を見学した後、16cm 天体望遠鏡や双眼鏡を使って天体観測、それをもとに、宇宙の年齢の計算にも挑戦しました。

生徒の感想

- ・今まで宇宙の年齢の求め方はおぼろげにしか知らなかったが、本講座を通し、どうしてそうなるかを理論的に考え、理解することができた。
- ・今までやったことのないことに挑戦し、自分達で答を見つけ出す大切さがわかった。



「サイエンスフォーラム～驚異の数 円周率πの世界～」サイエンスナビゲーター 桜井 進氏

4 月 14 日、諏訪市文化センターで開かれた今回のサイエンスフォーラムでは、生徒によるアラスカ研修報告のあと、桜井先生のお話を聞きました。

円周率は 4 0 0 0 年前から調べられており、当時、既に 3.1 までわかっていました。それから 2 0 0 0 年後、アルキメデスは 3.14 まで求めました。彼はまず正 6 角形で近似し、続いて 1 2 角形、2 4 角形というように頂点の数を倍々して計算をすすめていきました。

現在、円周率の桁数を求める小数計算は日本が一番。スーパーコンピュータを使いますが、その計算公式もプログラムも日本人が作りました。計算は内側と外側の正多角形ではさみながらすすめていきます。

長さの単位であるメートルは、ナポレオンの指示のもとフランスの学者達が決定。エジプト遠征で、ピラミッドを調べに行き、当時のエジプト人は地球の長さがわかっていたと知り驚いたナポレオンは、エジプト人がやったことを超えるため、世界統一単位を作ったといわれています。

幾何学 (Geometry) とは、地球 (geo) を計る (metry) の意味です。子午線に沿って地球一周は 4,000 万 km、地球の半径は 6,378km。ここで問題。1 メートル高いところを紐で一周巻いたとすると紐は何メートル長くなるでしょうか？答えは $2\pi \times 6,378 = 6.28\text{m}$ 。

最後に桜井先生ご自身のお話。中学時代、興味を持ったのはアインシュタインの宇宙方程式だったそうです。勉強は強制され仕方なくやることだけでも、学習・学ぶことは必要。大学は学習し学ぶ、学問をすることでおっしゃり、「私はこれまでの人生で、これほど一生懸命に仕事に精を出したことは決してありませんでした。私は数学への深い尊敬の念を抱くようになりました。その一層巧妙な部分を、私は今の今まで愚かにも単なる贅沢な遊びとみなしていたのです。この問題に比べれば・・・」というアインシュタインの言葉を紹介してくださいました。これは、彼が宇宙方程式を考えていた際、数学こそが自然の本質であることを感じたときの言葉だそうです。



卒業生の言葉

今年度卒業生から清陵の思い出、大学生活の様子などを聞かせてもらいました。

金沢大学
人間社会学域
人文学類

岩下 祥子



皆さんこんにちは、岩下祥子です。今は金沢大学で学生をやっています。高校では、部活（演劇・文学）を頑張っていました。何かに打ち込むことはとても大切だと思います。その点で、私は部活を一生懸命やって良かったと思います。

受験勉強は必死でやりました。今までの人たちもこれから先の人たちもきっと言い続けることだと思いますが、もっと勉強をしておけば良かったと思いました。後で自分の生活を振り返ってみると、何もしないでただだらけていただけの、勉強に割り当てられたはずの時間が沢山あったと思うのです。確かに何もしない休養の時間も大切ですが、私の場合は、少し休みすぎてしまったなど感じています。そんな私でも誇れることがあるとすればそれは、予習を欠かさずにやっていたことでしょうか。

大学と高校の一番の違いは、大学では自分の好きな授業を履修できるという点です。時間割も、全ての時間がいっぱいになるわけではなく、空き時間ができるようなシステムになっています。何のために空き時間があるかといえば、それは自学自習の時間を確保するためです。大学で学ぶことは、高度なことや必ずしも一つの答えが導き出せるとは限らないことが多いので、自分で考える時間が必要なのです。高校生の皆さんには、今のうちから授業で教わったことについて、よく考え、自分の意見を持つという作業をして欲しいです。受動的に受けるよりも少し授業が楽しくなるのではないかと思います。

北海道大学
総合理系

片桐 耕司



こんにちは。北海道大学総合理系一年の片桐耕司です。大学に入学してから、三か月がたちました。大学での生活は想像以上に忙しく、課題やレポートに追われる毎日です。北大の総合入試制度という特性上、二年生への進学時に希望した学部に進学するには、一年生の時の成績が大きくかかわってきます。そのため、今は試験のたびに弱音を吐きながら必死に勉強をしています。結局、大学でも高校と同じようにやるべきことはしっかりとやらなければいけないということです。また、大学には様々な地域から、様々な考えを持った人が集まります。そういう人たちと接することによって、自分の世界がどんどん広がっていく感じがします。こういう出会いも大学ならではの楽しみです。ちなみに長野出身の人を発見すると、とてもテンションが上がります。

僕は高校生の時、野球部に所属していました。高校生活を振り返って思うことは、何かに真剣に取り組んだ経験は、自分自身にとってとても大きな強みになるということです。特に、受験での「ここぞ」という時に、このことを強く実感しました。なので、みなさんには高校生活で何かに打ち込み、そしてやり遂げることをお勧めします。

最後に、卒業した後に振り返って、いい三年間だったと思える高校生活を送ってください。

3年進路係より

教科の先生に聞いてみました。

英語科編

清陵祭が終わり、いよいよ本気になって自己を確立するときがきました。3年生の夏休みは進路実現に大きく左右します。学習のリズムを作るために夏季補習を活用しましょう。夏季補習は前半の10日間が8時半～16時過ぎまでの講座単位での授業、後半数日間は希望教科による普通の授業時間の枠を超えてのまとまった学習、更に希望者を対象に2日間、朝から夜までの自習学習の場（諏訪市文化センター）を計画しています。これらの機会を通じて、各自が3年次後半に向けての「安定した学習ペース」を探って本格的な受験勉強に突入します。我々3学年は一丸となって清陵生最後の夏をしっかり乗り切っていきたいと思います。

Q紙の辞書と電子辞書、どちらがいいのでしょうか？

両者とも一長一短があります。

○紙の辞書は、いわば読み物。そして最高の参考書。ページを開けば、関連事項が一覧できます。当然、前後の見出しも確認できるので、派生語も自然と目にはいり、読むことができます。電子辞書ではこんなこと、できませんね。

○電子辞書の方が速いと思っている人が多いと思いますが、単語を見つけたあと、必要な意味にたどりつくのには、スクロールしないといけないので、結局は時間がかかってしまいます。同様に、一つの単語にいろいろな意味があるのに、初学者は初めに出ている意味だけを見てしまう傾向があります。

○紙の辞書は、一度調べた単語に印をつけたり、重要だと思う箇所に、下線を引いたりして、自分で調べた履歴がわかるものです。次に同じ語を引けば、記憶が呼び戻り、知識が蓄積されていきます。そうして手あかのついた辞書を見れば、自分の勉強の深まりを、必ずや実感できます。

◇電子辞書は検索にはとても便利ですから、中級者になったら電子辞書でもいいけれど、初学者のうちは紙の辞書という結論のようです。そういえば、高校、大学と、辞書を引く速さを友達と競争したりしたのを思い出しました。



県

大会の結果

主なもののみ掲載

長野県高等学校美術展

入選 小口歩美, 今井和歌奈, 藤森叡子, 奈良井志帆
小澤由季

長野県高等学校総合体育大会

<女子バスケットボール部>

①清陵 67-59 深志 ②清陵 67-82 岩村田

<サッカー部>

ベスト 16 (南信大会 3位)

<剣道部>

男子個人 (吉池峻祐)①吉池○× 杉岡 (美須々ヶ丘)

②吉池 ×○野中 (佐久長聖)

女子団体 (徳田・寺島・奥野・降幡・武川)

予選リーグ 清陵 0-5 上田 清陵 0-5 松本蟻ヶ崎 清陵 1-2 須坂

<男子バスケットボール部>

県一回戦 清陵 62-73 蟻ヶ崎

<男子硬式テニス部>

団体戦 1回戦 清陵 0-3 須坂

個人戦 ダブルス 1回戦 清陵 (濱・平島) 4-6 上田東

<陸上部>

男子棒高跳 倉橋由宇 3位 4m20

オープン女子棒高跳 田中優奈 4位 2m90 17名県大会出場

<端艇部>

男子シングルスカル 決勝A 1位野村真太郎 2位小松拓磨

3位山本秋汰 4位中野洋 5位柄沢健史 6位波多野和樹

ダブルスカル 決勝A 2位清陵 (守野・吉原)

クオドルブル決勝A 1位清陵 (大内・原・花岡・両角・宮下)

女子シングルスカル 決勝A 2位高橋沙恵 3位小口佳代

4位唐澤玲子 6位土屋恵

ダブルスカル 決勝戦 1位清陵 (今井・岡部)

クオドルブル決勝A 2位清陵 (関・小林・加藤・鈴木・入江)



クラブ紹介

27 古典ギター一部

こんにちは。古典ギター部、通称「コテギ」です。古典ギター部、という名前を聞いて何をやっているかぴんとくる人は少ないと思うので、ちょっと紹介をしたいと思います。

私たちは、5種類のクラシックギター（アルト、チェンバロ、プライム、バス、ギタロン）を使って合奏をしています。夏は清陵祭で演奏会、冬はクリスマスコンサートがあります。部の名前からして少し堅いイメージがあるかもしれませんが、クラシックからディズニー、J-POP、世界の民謡まで様々なジャンルを演奏し、味わうことができる部活です。

大会にも参加し、昨年7月の全国大会（大阪）ではスペイン大使賞・3年連続優秀賞・10年連続出場賞の3つの賞をいただきました。先輩たちのおかげでいただくことができた「〇年連続」という賞をさらに後輩へ繋げていけるようにし、そのほかの賞も取れるように日々練習しています。

ギターの音はいつでも心地よく、胸に響き癒されます。
古典ギター部部長 今井雅人



上段左：ギタロン 中：チェンバロ
右：アルト 下段右：プライム



北 信越大会の結果

<陸上部>

男子棒高跳 倉橋由宇 11位 4m10

<端艇部>

男子シングルスカル 決勝C 1位小松拓磨 2位野村真太郎 3位中野洋 4位山本秋汰 5位柄沢健史 6位波多野和樹

ダブルスカル 決勝B 3位清陵 (守野・吉原) 舵手付きクオドルブル決勝A 6位清陵 (大内・原・花岡・両角・宮下)

女子シングルスカル 決勝A 6位高橋沙恵 決勝B 2位小口佳代 決勝C1 位唐澤玲子 3位土屋恵

ダブルスカル 決勝A 3位清陵 (今井・岡部) 舵手付きクオドルブル決勝B 1位清陵 (関・小林・加藤・鈴木・入江)

■発行・編集 長野県諏訪清陵高等学校 教務係

〒392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1 TEL. 0266-52-0201 FAX. 0266-57-2426

<http://www.nagano-c.ed.jp/seiryohs/> e-mail:seiryohs@nagano-c.ed.jp